

# 令和2年12月 第421回定例会 提出議案等及び審議結果（経過）

更新日時： 令和2年12月17日

議案番号等	件名	提出日等	付託委員会	議決等年月日	結果
議案第59号	令和元年度大野市歳入歳出決算認定について【継続審査】	R2.11.30	決算特別	R2.12.8	認定
議案第60号	令和元年度大野市水道事業会計の決算認定について【継続審査】	R2.11.30	決算特別	R2.12.8	認定
議案第65号	令和2年度大野市一般会計補正予算(第9号)案	R2.11.30	総務文教 産経建設 民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第66号	令和2年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第67号	令和2年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第2号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第68号	令和2年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第69号	令和2年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第70号	令和2年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第71号	令和2年度大野市水道事業会計補正予算(第1号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第72号	令和2年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第1号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第73号	令和2年度大野市下水道事業会計補正予算(第1号)案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第74号	大野市和泉地域交流センター設置条例案	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決
議案第75号	大野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例案	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決
議案第76号	大野市部設置条例の一部を改正する条例案	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決

# 令和2年12月 第421回定例会 提出議案等及び審議結果（経過）

更新日時： 令和2年12月17日

議案番号等	件 名	提出日等	付 託 委 員 会	議決等年月日	結果
議案第77号	大野市和泉情報通信施設の設置及び管理運営に関する条例等の一部を改正する条例案	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決
議案第78号	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	R2.11.30	(付託省略)	R2.11.30	原案可決
議案第79号	大野市諸収入金に対する督促及び滞納処分に関する条例の一部を改正する条例案	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決
議案第80号	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第81号	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第82号	大野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第83号	大野市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例案	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第84号	指定管理者の指定について(大野市立集会所)	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決
議案第85号	指定管理者の指定について(大野市体育施設)	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決
議案第86号	指定管理者の指定について(大野市健康保養施設)	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	原案可決
議案第87号	指定管理者の指定について(大野市立農村集落多目的共同利用施設)	R2.11.30	産経建設	R2.12.17	原案可決
議案第88号	指定管理者の指定について(大野市特用林産物生産・加工施設)	R2.11.30	産経建設	R2.12.17	原案可決
議案第89号	指定管理者の指定について(大野市麻那姫湖青少年旅行村)	R2.11.30	産経建設	R2.12.17	原案可決
議案第90号	指定管理者の指定について(大野市元町会館)	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決
議案第91号	指定管理者の指定について(大野市駐車場)	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	原案可決

# 令和2年12月 第421回定例会 提出議案等及び審議結果（経過）

更新日時： 令和2年12月17日

議案番号等	件名	提出日等	付託委員会	議決等年月日	結果
議案第92号	指定管理者の指定について(大野市都市公園)	R2.11.30	産経建設	R2.12.17	原案可決
議案第93号	冷凍冷蔵ショーケース売買契約の締結について	R2.11.30	産経建設	R2.12.17	原案可決
議案第94号	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度大野市一般会計補正予算(第8号))	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	承認
議案第95号	令和2年度大野市一般会計補正予算(第10号)案	R2.12.17	(付託省略)	R2.12.17	原案可決
陳情9号	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情	R2.11.30	総務文教	R2.12.17	趣旨採択
陳情10号	75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める陳情	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	不採択
陳情11号	泉町地区の下水道管敷設工事による「地下水環境への影響調査」の実施を求める陳情	R2.11.30	民生環境	R2.12.17	不採択
市会案第5号	防災・減災、国土強靱化対策の強化と地方創生の推進を求める意見書案	R2.11.30	(付託省略)	R2.11.30	原案可決
報告第15号	専決処分の報告について(地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく承認地域経済牽引事業計画に従って設置される施設における市税の特例に関する条例の一部を改正する条例)	R2.11.30	—	R2.11.30	受理
報告第16号	専決処分の報告について(損害賠償額の決定)	R2.11.30	—	R2.11.30	受理
報告第17号	専決処分の報告について(損害賠償額の決定)	R2.11.30	—	R2.11.30	受理
報告第18号	教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	R2.11.30	—	R2.11.30	受理

注) 請願・陳情の提出日は、本会議へ上程された日です。請願者や陳情者から提出のあった日ではありません。

○ 令和2年12月第421回定例会 教育委員会関係 一般質問

質問 議員	質問内容	答 弁 内 容
木戸屋 議員	<p>1. 学校の配置とずっと住み続けたいおおのについて</p> <p>①大野市小中学校再編計画策定のスケジュール</p>	<p>教育委員会では、大野市小中学校再編計画検討委員会から小中学校の再編に関する報告を受け、総合教育会議での協議を経て、本年度末までに再編計画の案を作成することとしています。</p> <p>来年度は、まず、小中学校や未就学児の保護者、各地区の皆さまに対して、計画案の説明会を開催したいと考えています。</p> <p>説明会終了後は、説明会でいただいた意見を参考に計画案を精査し、パブリックコメントを実施するとともに、検討委員会を開催し、計画案に対するご意見をいただくことを予定しています。</p> <p>その後、総合教育会議での協議を行い、令和4年3月末までに計画を改訂することとしています。</p> <p>これらの進捗状況などは、適宜議会に報告させていただき、令和4年度から計画に沿って、慎重に丁寧に着実に再編に向けた取組みを進めたいと考えています。</p>

○ 令和2年12月第421回定例会 教育委員会関係 一般質問

質問 議員	質問内容	答 弁 内 容
ダニエル議員	<p>1. 英語、数学、音楽、スポーツ等で特に優れた能力を発揮する児童・生徒に対し、どのような対応をしているか</p> <p>①どのような教育的配慮がなされているか</p>	<p><u>小中学校の教育課程は、文部科学省による、標準的な指導の内容を定めた、学習指導要領に基づいて編成されています。</u></p> <p><u>そこでは、教科別に学習目標と学習内容が学年ごとに系統立てて設定されています。これは、全国どこの学校でも一定の水準を保ち、すべての児童生徒に平等に学力をつけさせるためのものです。</u></p> <p>例えば、昨年度改訂された小学校学習指導要領の5、6年の外国語の目標は、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することとなっています。「書く」という領域の目標に、アルファベットの大文字、小文字を書くことができるようにし、慣れ親しんだ簡単な語句を書き写すことができるようにするとあります。そして、小学校で書くことに慣れ親しんできたことを踏まえ、中学校では伝えたい内容を正確な英語で書くことができるようにするとあり、系統立てて学習するようになっています。</p> <p>本市では、3人のALTを独自に雇用し、小学校5、6年の授業に入るだけでなく、学校生活の中で多くの児童と触れ合う機会を設けることにより、小学生の早い段階から英語に慣れ親しみ、国際感覚を身に付けられるようにしています。中学校でも同様の目的で、県からALTが配置されています。</p> <p><u>どの子も個性があり、無限の可能性を秘めています。子どもたちが将来、夢や希望を実現し、地域の担い手として活躍していくためには、一人一人が個性を発揮してその可能性を伸ばし、人生を切り拓くために挑戦し続ける力を育成することが大切であると考えています。</u></p> <p><u>そこで、本市では、昨年度に引き続きすべての子どもたちの自信を育むために、魅力ある学校づくりを推進しています。</u></p> <p><u>小中学校では、自分の強みや得意分野を発見したり、知的好奇心や探求心を持って主体的に学んだりする授業づくりに取り組んでいます。</u>子どもたちは学習課題を自分事として捉え、全員が参加して課題を解決することを目指しています。子どもたちの授業に向かう姿勢は大変前向きで、課題解決に向けて活発に取り組んでいる姿が見られます。</p> <p><u>また、小学校の段階から、関心意欲を喚起し能力をさらに伸ばすため、高学年では英語や理科の専門の教員から指導を受ける、教科担任制も推進しています。</u>英語に堪能な教員や理科の知識が豊富な教員が行う授業により、子どもたちの知的好奇心は一層高まっています。</p> <p><u>さらに、得意なことや興味のあることを活かせる様々な事業や大会への積極的な参加を勧めています。</u></p> <p>例えば、毎年、夏季休業中に、中学校英語科の教員とALTが中心となって、希望する中学生を対象に英語セミナーを実施</p>

	<p>しています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があり実施できませんでしたが、毎年、英語の力をさらに磨きたいと思う生徒が数多く参加し、コミュニケーション能力を伸ばしています。また、英語検定などの外部検定試験を積極的に受けたり、理科や算数・数学に興味のある子は「ふくい理数グランプリ」に参加したりしています。</p> <p><u>中学校の部活動も、スポーツや芸術の分野で自分の強みに出会うチャンスです。</u></p> <p>中学卒業後も引き続き高校で活躍している生徒や、演奏家として活躍している方もいます。</p> <p><u>また、専門家による質の高い授業も行っています。</u></p> <p>小中学校の体育の授業にトップアスリートを派遣する県の事業があり、本年度は、下庄小学校と陽明中学校には陸上競技で、上庄中学校にはハンドボールで実業団チームを派遣しています。小学校の書写の授業には、書道家を指導員として、有終西小学校と下庄小学校、上庄小学校に派遣しています。</p> <p>教育委員会といたしましても、今後とも専門分野で活躍されている方を小中学校に招くなどして、一流に触れる機会を充実していきます。</p> <p><u>これらの取り組みを通して、一人一人が個性を発揮してその可能性を伸ばせる教育に努めてまいります。</u></p>
--	---

○ 令和2年12月第421回定例会 教育委員会関係 一般質問

質問 議員	質問内容	答 弁 内 容
廣瀬 議員	1. 大野市小中学校再編計画検討委員会について	<p>令和2年6月に1回目の大野市小中学校再編計画検討委員会を開催し、これまでに6回の会議で、学識経験者をはじめ、保護者、地域、団体の代表と公募委員により、本市にふさわしい小中学校のあり方を検討していただいています。</p> <p><u>1回目の会議では、正副委員長を選出し、事務局から再編に向けた教育委員会の方針や教育環境の現状などを説明した後、委員長から今後の議論に向けての講話をいただきました。</u></p>
	① 6回の会議内容と総括	<p>この回は、小中学校の耐震化の状況、中学校の部活動の状況、音楽や美術などの免許を所有する教員が配置されていない中学校での授業の実施方法などについての質問がありました。</p> <p><u>2回目は、教育委員会の方針を再確認し、ふるさと学習のあり方、部活動の方向性などを説明した後、再編に対する思いを各委員からお話いただきました。</u></p>
	② 残り3回の会議の内容	<p>この回は、再編に伴う児童生徒に対する過度の負担への対応、ふるさと学習の内容の詳細、放課後の子どもの居場所づくり、中学校の部活動のあり方など、多岐にわたる質問がありました。</p> <p><u>また、各委員から再編に対する意見をお聞きしました。</u></p> <p><u>まず、学校数については、現計画の小学校2校、中学校1校に賛成という意見や、現計画に反対で小学校は4校程度、中学校は2校程度必要ではないかという意見、和泉小中学校は再編しないほうが良いという意見が出されました。</u></p> <p><u>次に、再編の時期については、中学校は早急に再編したほうが良いという意見が出されました。</u></p> <p><u>そのほかの意見としては、小学校は地域との関係を築き安全で安心な学校にしたい、保護者や地区の思いよりも何が子どもたちにとって最良なのかを考えて子どもたちを大切にしたい計画にしたいという意見などが出されました。</u></p> <p><u>3回目は、中学校の再編の例、校舎を新築又は長寿命化した場合の整備費用の試算額、通学時間と距離などを例示し、意見交換がなされました。</u></p> <p>この回は、再編した際の学校名などの取り扱い、教職員の配置、校区の見直しなどについての質問や意見が出されました。</p> <p>また、再編後の校数によっては再度再編が必要になることが見込まれるので、そのことを含めて検討すべきといった意見が出されました。</p> <p><u>4回目は、小学校の再編の例、校舎を新築又は長寿命化した場合の整備費用の試算額などを例示し、文部科学省や他市における学校再編の資料も参考にして、意見交換がなされました。</u></p>

	<p>この回は、複式学級の解消、通学時間や距離、放課後の子どもの居場所づくりなどについての質問や意見が出されました。</p> <p><u>5回目は、大野市が目指す学校教育について説明し、委員からは、再編を行うにあたっては、地域や保護者の関わり方、通学時間や距離、複式学級の解消が重要であるとの意見が出されました。</u></p> <p><u>また、委員が所属する団体のうち、和泉地区の意見を聴取した結果として、和泉地区については将来的には再編が必要になる可能性があるものの、小学校は残したほうが良いという意見が多かった、との報告をいただきました。</u></p> <p>この回は、ふるさと学習や自校方式の給食を生かした食育や歯の健康、再編後の学校生活、幼稚園・保育園から高等学校まで連携した教育システムづくりなどについて質問や意見が出されました。</p> <p><u>6回目は、これまでに出示された意見を整理し、小中学校の再編について意見交換がなされました。</u></p> <p><u>この回は、学校数、再編時期、再編方法について委員会としての一定の結論付けを目指しました。この中で、中学校については2校、小学校については和泉小学校を残し複式学級を解消することで概ね意見の一致が見られました。</u></p> <p><u>また、小中学校ともに再編は2段階に分けて行うことが望ましいという意見や、小学校については5校が望ましいという意見が出されましたが、出された意見や課題を整理する必要があることから、次回の会議で再度議論することとされました。</u></p> <p><u>来年3月までに予定されている会議では、次回示される報告の原案を基に、検討委員会としての意見を取りまとめた報告書を作成していくことが中心となります。</u></p> <p><u>教育委員会といたしましては、委員からそれぞれの思いや所属団体の意見をお聞かせいただくことで、学校の再編だけでなく、これからの本市の教育を考える上で大きな参考になるものと捉えています。</u></p> <p><u>また、会議の議論の動向を見据えながら、再編計画の案を今年度末までに作成したいと考えています。</u></p>
--	---